

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NSC-176

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Pembrolizumab +CBDCA/PTX	21日間	4コース+α	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高/中	N Engl J Med 379: 2040-51, 2018

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート ファモチジン ポラミン 生理食塩液	19.8mg 20mg 5mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑤	アロキシ 生理食塩液	0.75mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑥	パクリタキセル 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴静注	180分	↓																				
⑦	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC6 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
上記4コース施行後、維持療法（Pembrolizumab単剤（200mg q3w or 400mg q6w）を病勢進行まで施行																									

＜注意事項/備考＞

- ✓ PTX：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与、DEHPを含まない輸液セット使用
- ✓ PTX：ポリオキシエチレンヒマシ油によるアレルギー発現に注意
- ✓ 末梢神経障害（PTX）：四肢の知覚異常が主体、疼痛を伴うこともあり
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
- ✓ Pembrolizumab：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓